

引用文献

- 〔1〕愛知県農林水産部農業経営課（2007）『農業経営改善総合指導指針（農業経営改善モデル19）』.
- 〔2〕有田博之・木村和弘(1993)「畦畔の除草作業からみた圃場形態－畦畔除草に適した圃場整備技術の開発（Ⅰ）」,『農業土木学会論文集』, 第163巻第2号, pp. 87-94.
- 〔3〕有田博之・木村和弘(1994)「畦畔除草面積を縮小する圃場形態－畦畔除草に適した圃場整備技術の開発（Ⅳ）」,『農業土木学会論文集』, 第170巻第4号, pp. 19-25.
- 〔4〕袴田泰三（2003）「耕作放棄地の現状と対策」,『農業と経済』, 第69巻第10号, pp. 14-20.
- 〔5〕細山隆夫（2004）『農地賃貸借進展の地域差と大規模借地経営の展開』, 農林統計協会.
- 〔6〕諫山俊之・保科亨・下澤秀樹（2003）「マルチ被覆とシバザクラ植栽を組み合わせた大規模畦畔管理技術の多面的評価－経営効果と効用に着目した導入条件－」,『農業経営通信』, No215, pp. 2-5.
- 〔7〕諫山俊之・保科亨・下澤秀樹（2003）「マルチ被覆とシバザクラ植栽を組み合わせた大規模畦畔管理技術の多面的評価－費用と便益に着目した導入条件－」,『農業経営通信』, No216, pp. 2-5.
- 〔8〕石田正昭・木南章（1987）「稲作をめぐる組織と市場」,『農業経済研究』, 第59巻第3号, pp137-145.
- 〔9〕唐橋需・三竿善明（2006）「背負い板型両肩掛け式ベルトによる中山間地水田畦畔刈払い作業負担の軽減」,『農作業研究』, 第41巻第4号, pp. 171-180.
- 〔10〕桂明宏（2008）「集落営農と経営政策」, 日本農業経営学会編,『与件大変動期における農業経営』, 農林統計協会, pp. 125-141.
- 〔11〕川崎賢太郎（2009）「耕地分散が米生産費及び要素投入に及ぼす影響」,『農業経済研究』, 第81巻第1号, pp. 14-24.

- [12] 木南章・石田正昭(1995)「作業受託と経営受託の選択」, 和田照男 (編),
『大規模水田経営の成長と管理』, 東京大学出版会.
- [13] 木村和弘・有田博之・内川義行(1994):「急傾斜地水田の畦畔法面の形態と
除草作業の実態－畦畔除草に適した圃場整備技術の開発(Ⅱ)」,『農業土木学
会論文集』, 第 170 巻第 4 号, pp. 1-10.
- [14] 鬼頭功・淡路和則・三浦聡 (2010)「傾斜地水田における畦畔管理負担の評
価」,『農業経営研究』, 第 48 巻第 1 号, pp. 67-72.
- [15] 鬼頭功・淡路和則・三浦聡 (2010):「大規模水田作受託経営にける畦畔管
理作業の実態と経営対応」,『2010 年度日本農業経済学会論文集』, pp. 62-68.
- [16] 宮本誠 (2004)「営農と生活を一体的に展開する庄原市一木集落」, 金沢夏
樹編著,『地域営農の展開とマネジメント』, 農林統計協会.
- [17] 宮武恭一 (2007)「大規模稲作経営の経営革新と地域農業」, 独立行政法人
農業・食料産業技術総合研究機構中央農業研究センター.
- [18] 宮武恭一 (2010)「北陸地方の集落営農における専従者確保の条件」『農業
経営研究』 第 48 巻第 1 号, pp. 78-83.
- [19] 永田恵十郎(1988)「地域資源の国民的利用－新しい視座を定めるために－」,
農山漁村文化協会.
- [20] 中嶋康博 (2010)「新たな生産調整プログラムの課題と展望」,『2010 日本
農業経済学会大会報告要旨』, pp90-107.
- [21] Nakajima Shinichi (2010) Tenancy Contract Choice and Land
Improvement Investment for Upland Farming, The Japanese Journal of
Rural Economics, Vol12, pp.33-51.
- [22] 仁平恒夫(2004)『条件不利地域における農業公社中心の地域営農システム』,
「地域営農の展開とマネジメント」, 農林統計協会.
- [23] 仁平恒夫 (2005)『中山間地域における担い手型農業公社の現状と展開方法
－北陸地域を中心として－』, 中央農業研究センター・北海道農業研究センタ
ー.

- [24] 農林水産省 (2010) 「かけがえのない農地を守るために－耕作放棄地対策推進の手引き－」.
- [25] O E C D (2003) Multifunctionality－The Policy Implications－.
- [26] O E C D (2001) Multifunctionality－Towards an Analytical Framework Agriculture and Food－.
- [27] 竹谷裕之 (1995) 「水田農業の担い手形態と農地管理」, 『農業経済研究』, 第 67 巻第 2 号, pp77～85.
- [28] 田代洋一 (2003) 「耕作放棄の要因と対策」, 『農業と経済』, 第 69 巻第 10 号, pp. 5-13.
- [29] 友正達美、安藤益夫、工藤清光 (1994) 「性別・年齢を考慮した労働強度の推定法と中山間地域における水稻作への適用例」, 『近畿中国農業研究』, 近畿中国農業研究協議会, pp. 41-46.
- [30] 梅本雅 (1997) : 「大規模水田作経営の生産力構造」, 梅本雅, 『水田作経営の構造と管理』, 日本経済評論社.
- [31] 梅本雅 (2008) 『転換期における水田農業の展開と経営対応』, 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター.
- [32] 八木洋憲 (2005) 「中山間地域における農地集積計画－地区レベルの規範モデルによる大規模水田経営の成立可能性の検討－」, 八木洋憲, 『土地利用計画論－農業経営学からのアプローチ－』, 養賢堂.
- [33] 矢口芳生 (2006) 「共生農業システム成立の条件」, 農林統計協会.
- [34] 矢口芳生 (2002) 「農業構造の改革は可能か－「戦後日本型ユンカー経営＝パートナーシップ型地域農業経営」視点からのアプローチ」, 矢口芳生編著, 「農業経済の分析視角を問う」, 農林統計協会.
- [35] 山田勝 (2008) 「担い手の経営確立と支援方策－愛知県における水田農業改革をめぐる－」, 日本農業経営学会編, 『与件大変動期における農業経営』, 農林統計協会, pp. 143～161.

参考文献

- 〔1〕安城市歴史博物館・明治用水土地改良区・JAあいち中央編集（2008）「『安城方式』と呼ばれたほ場整備－安城の農業発展を支えた人々－」, 安城市歴史博物館.
- 〔2〕ARITA Hiroyuki・KIMURA Kazuhiro（2003）Land Consolidation of Paddy Field, Association of Agriculture & Forestry Statistics.
- 〔3〕浅井悟・門間敏幸（1999）「農家経営行動論－農家の行動論理と意思決定支援－」, 農林統計協会.
- 〔4〕荏開津典生（2003）「農業経済学」, 岩波書店.
- 〔5〕日暮賢司（2002）「食料経済入門－経済学から見た現代食料問題－」, 東京書籍.
- 〔6〕今井健・奥村彰浩・柳田洋吉（1997）「耕作放棄地の現状と課題－岐阜県可児市A地区の事例分析－」, 岐阜大農研報, pp. 51-55.
- 〔7〕磯辺秀俊（1971）「農業経営学」, 養賢堂.
- 〔8〕金沢夏樹（1982）「農業経営学講義」, 養賢堂.
- 〔9〕木南章（2006）「水田作経営における技術革新の課題」, 金沢夏樹編著, 『新たな方向を目指す水田作経営』, 農林統計協会.
- 〔10〕木村伸男（1994）「成長農業の経営管理－新しい時代に向けての挑戦戦略－」, 日本経済評論社.
- 〔11〕木村伸男（2008）「現代農業のマネジメント－農業経営学のフロンティア」, 日本経済評論社.
- 〔12〕長濱健一郎（2003）「地域資源管理の主体形成－「集落」再生への条件を探る－」 日本経済評論社.
- 〔13〕長町三生（1995）「安全管理の人間工学」, 海文堂.
- 〔14〕大隈満ら（2007）「ゼミナール現代社会と食料・環境・農業」, 農山漁村文化協会.

- [15] 櫻井武司・芝原真紀・櫻井清一（2007）「耕作放棄と農地貸付－農業の多面的機能とソーシャルキャピタルの観点から－」，平成 19 年度日本農業経済学会論文集，pp. 141-148.
- [16] 竹谷裕之（1990）「矢作川流域における農業水利と水管理」地域水利問題研究会『農業水利秩序再編の課題－地域農業の変貌過程における－』，農林統計協会.
- [17] 玉城哲（1982）「日本の社会システム－むらと水からの再構成－」，農山漁村文化協会.
- [18] 地域農業経営戦略研究会（2006）「地域農業マネジメントの革新と戦略手法」，武部隆・高橋正郎編，農林統計協会.
- [19] YAGI Hironori（2008）An Empirical Application of the Linear Programming Model for Agricultural Land Use Planning through the Valuation of Negative Externalities Farmland in Marginal Areas, The Japanese Journal of Rural Economics Vol10.
- [20] 八木宏典（2006）「新世紀における水田農業の経営ビジョン」，金沢夏樹編著，『新たな方向を目指す水田作経営』，農林統計協会.